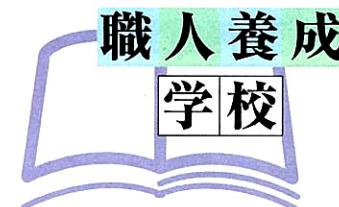


多能工を続々輩出

注目の研修機関を紹介



▶研修では、施工技術だけでなく、細かなマナーまで指導している

小工事を効率よくこなしつつ営業も

ただ、小工事は利益を十分に確保することが難しい。そこで、トイレや洗面化粧台の交換といつ

域の特性によってカリギュラムに手が加えられてい。

新築OBフォローに強い多能工を育成

一方、ハウスリフター

マーザーの主な役割は、定期メンテナンスや御用聞きでOB宅を訪問し、小工事を受注することで、ユーザー満足度を高めつつ関係を維持し、次の大工事につなげることだ。

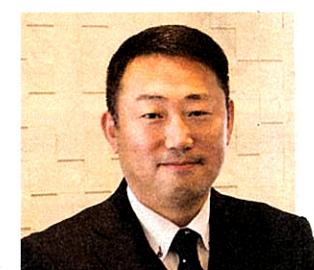
現在、長崎、大阪、静岡校では、ク

タログの見方といった積算・管理能力の3つ。

施工能力については、シス

「工務店が生き残つていくためには、新築OBとの関係づくりが特に重要。小工事を効率よくこなしながら営業もできる『ハウスリフター』は、必須になってくるはず。また、研修を通じて、『モチベーションが上がった』、「職人との連携が取れるようにな

ハウスリフター育成学院



中田竜学長

小工事は一人で完結

岡で計3校を展開。加えて、北陸と四国エリアでも開校準備が進められている。これまでの卒業生は約200人。主な受講者は工務店や不動産会社のスタッフ。工務の担当者だけではなく、営業マンが3割を占めている点が特徴だ。

具体的に学ぶ内容は、①多能工としての施工能力、②現場や打ち合わせで求められる接客能力、③工事の積算や原価管理、カタログの見方といった積算・管理能力の3つ。

費用は一人あたり50万円。「工務店が生き残つていくためには、新築OBとの関係づくりが特に重要。小工事を効率よくこなしながら営業もできる『ハウスリフター』は、必須になってくるはず。また、研修を通じて、『モチベーションが上がった』、「職人との連携が取れるようにな